

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はあと f + j 中央		
○保護者評価実施期間	2026年1月1日		2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年1月1日		2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースの確保・事業所内の構造化。	運動や活動を行う部屋、勉強や作業を行う部屋、クールダウンスペースを分けて活用している。	児童の年齢・成長に合わせて事業所内の物品や配置を変更する。
2	レクリエーション・イベントの充実。	季節に応じたレクリエーションや外出行事など施設内外で様々な体験ができるよう企画・運営をしている。	保護者も参観できるようなイベントを検討し、児童の成長した姿や楽しんでいる姿を直接見られるようにする。
3	保護者・関係機関との連携。	保護者や学校、関係機関等との情報共有を随時実施している。	児童の情報について、適宜担当者会議等を開催し、情報共有の場を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会がなく、家族等も参加できる研修会等の情報提供が少ない。	現状保護者会等を開催する時間の捻出が難しく、開催できていない。	保護者が参観できるイベントを企画し、その際に保護者同士の交流を深めてもらう。研修会の案内については、事業所玄関の掲示板に掲示・送迎時等に保護者にチラシ送付を行う。
2	放課後児童クラブ等の地域の子どもと接する機会が少ない。	他事業所と調整がつかず、未実施。	同法人内の事業所のイベント参加を検討する。
3	SNSやHP等での活動報告が少ない。	HP等への写真掲載NGの児童もいるため、個別に活動写真を送ることが多い。	事業所のInstagramがあるので、写真掲載OKの児童を撮影し、活動の様子をPRする。